



「有終の美」を飾り、希望の春へつなぐ3学期に

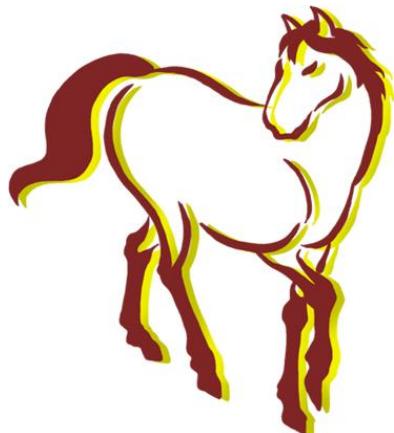
校長 花田 修

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

いよいよ令和8年の幕開けとともに、3学期がスタートしました。3学期は、1年間の学習や生活のまとめを行う「仕上げ」の時期であると同時に、4月からの新しい学年、新しい生活に向けた準備を行う「0学期」でもあります。短い期間ではありますが、一日一日を大切にし、こどもたち一人一人が今年度の「有終の美」を飾れるよう、教職員一丸となって教育活動に邁進してまいります。

3学期、特に期待を寄せているのが、本校の顔である6年生の姿です。卒業までの残りわずかな日々、最高学年として「学校のため」「後輩のため」「地域のため」に何ができるかを考え、行動に移してほしいと願っています。下級生の手本となり、学校全体を支えるその行動は、必ずや在校生の心に刻まれ、受け継がれていきます。「6年生のおかげで楽しかった」「いなくなるのが寂しい」——まわりからそう感謝され、惜しまれながら卒業していく。そんな凛とした姿で巣立っていくことを強く期待していますし、わたしたち教員もその背中を全力で後押しします。

また、全校児童には、自分自身の成長について「振り返り、次へつなぐ」ことを指導していきます。自分の良さや強みは何かを見つめ直し、それをさらに伸ばしていくこと。一方で、できていないことや苦手なことについては、あきらめるのではなく、「自分が何を、どのように取り組めばよいのか」をじっくりと考え、具体的な行動に移すこと。与えられたことをこなすだけでなく、自分自身を知り、自分で考え行動する力こそが、次のステージ(進学・進級)での大きな糧となります。



希望の春へ胸を張って進めるよう、ご家庭におかれましても、こどもたちの「挑戦」と「仕上げ」を温かく見守り、励ましていただきますようお願い申しあげます。本年も、本校教育へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

今年の干支『午』には、力強さや躍動感という意味があるそうです。